

令和3年5月6日

参加チーム責任者 殿

(一社) 岩手県バスケットボール協会  
会長 赤坂俊幸  
(公印省略)

### 第76回岩手県一般バスケットボール選手権大会について

標記大会の開催にあたり、下記の事項を確認のうえ参加されますよう連絡いたします。

#### 記

1. 組合せ・会場・タイムテーブルは、別紙の通りとなります。  
※ 今大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常とは異なるタイムテーブルを用いているため、注意のこと。特にも男子2回戦が2日間にまたがっているため、男子チームは組合せ表をよく確認すること。
2. 審判・テーブルオフィシャルを次の通り協力願います。  
◎ オフィシャルは各チームとも自チームのゲームの前のゲームにテーブルオフィシャル3名とモップ係1名を派遣すること。なお、オフィシャルは男女とも最終日の決勝までお願いします。(コロナ感染拡大の関係で高校生には依頼しませんのでご協力をお願いします。) オフィシャルは最終日の最終ゲームまでお願いすることになりますが、最終ゲームは前のゲームの両チームでお願いします。  
コロナウイルス感染拡大の状況の中での開催となりますので、各チームにはその旨ご理解のうえご協力をお願いします。  
◎ 審判割当は、各チームの責任者に発送した割当によるが、自チームのゲームの前のゲームとは限らないので、各チームの責任者は帯同審判と事前に確認すること。  
※ 指定された試合の帯同審判及びテーブルオフィシャルを行わなかった場合、没収試合となり規律委員会の審議対象となります。
3. 競技上の注意
  - (1) ユニホームは必ず規則に定められたとおりのものであること。
  - (2) エントリー変更がある場合は、添付のエントリー変更用紙に記載し、5月10日(月)までに担当の伊藤祐悦宛(下記アドレス)に連絡すること。エントリー変更の締切り以後及び電話でのエントリー変更は一切認めない。(エントリーしている選手間のユニホームの番号を変えることも含む。)  
〈連絡先〉 Email : [ito-y@city.morioka.iwate.jp](mailto:ito-y@city.morioka.iwate.jp)  
携帯 090-1069-5089
  - (3) 帯同審判に関しての問い合わせ及び変更については必ず下記連絡先までお願いします。  
審判委員会運営担当：大澤真也 携帯 080-1840-6050 アドレス [osawa4114@gmail.com](mailto:osawa4114@gmail.com)
4. その他
  - (1) 代表者会議・開会式は行わない。ただし、閉会式は決勝終了後、直ちに行うので、ベスト4のチーム代表者1~2名は出席すること。欠席した場合、規律委員会の審議対象となります。
  - (2) 大会プログラムやチーム登録控え等、各チームの配布物(封筒)を最初のゲームの前に大会本部から受け取ること。
  - (3) 今大会3位以上のチームは、第76回岩手県男女総合バスケットボール選手権大会への出場権を獲得するが、そこではD級以上の資格有するコーチが必要となるので留意のこと。
  - (4) 絶対に棄権することのないよう十分な準備をすること。  
もし、正当な理由のない棄権行為があった場合は、以後の出場停止等厳重な処置を講ずる。
  - (5) 各会場とも許可された施設以外の使用をしないこと。また、施設使用マナー(特に喫煙は各会場で指定された場所以外では吸わないこと)を各チームのメンバーに周知徹底し、厳守すること。
  - (6) 各体育館の駐車については、指定場所以外には駐車しないこと。特に、正面玄関前・非常口・役員出入り口等には絶対駐車しないこと。また、各チームとも乗り合いし、出来るだけ少ない台数で来場すること。
  - (7) チーム責任者は、ごみを持ち帰るようチームメンバーに徹底すること。  
忘れ物は大会終了後処分するので注意願います。
  - (8) 大会期間中のケガ等は、各チームの責任において対処すること。(スポーツ傷害保険に加入等)

(9) 前回の優勝チームは優勝杯を5月15日までに大会本部へ返還し、レプリカを受け取ること。

(本部・県営体育館)

(10) 本大会の出場には、JBA公認E級以上の資格を有するコーチが必要となるので留意のこと。試合開始前スコアシートにサインする時には、持参したコーチ証を提示すること。

試合中は首に掛けること。また、やむをえない事情によりコーチ有資格者が試合開始に間に合わない場合又は来ることが出来なくなった場合は、試合開始10分前までにその旨を各会場の本部に報告し、コーチ不在報告書に記載し提出すること。

※ やむをえない事情とは緊急と認められるもの（荒天による交通機関の乱れや本人・家族等の病気、急に入った仕事など）であって、予定されていた仕事などはやむをえないものとは認めない。コーチ有資格者が試合の指揮を執ることは、基本的にチームの義務であるので、各チームはそのことをよく自覚して、大会の参加に関する計画を立てること。

※ 申し出があった場合には、競技委員会がその理由を審議して、試合を開始するかどうかを判断する（理由がやむをえないものと判断されない場合には、その試合は没収試合となる）。虚偽の申告をした場合には、そのチームおよびコーチは処分の対象となる。

#### 【重要】

※参加に当たっては、感染予防対策ガイドラインを確認し、チームの選手及びスタッフに周知徹底すること。

※大会開催の2週間前・大会期間中・大会終了後2週間以内にチームの選手・スタッフ・関係者（家族を含む）に感染者又は感染が疑われるケースが出た場合は、大会運営責任者伊藤まで速やかに連絡をすること。（このことによって棄権した場合にはチームへのペナルティは科さないものとする。ただし、感染者及び感染が疑われるケースがあったにも関わらず連絡を怠った場合は、ペナルティの対象とする。）

※関係者の中から大会期間中陽性反応者が出た場合、原則大会を中止とし、大会の延期等を検討する。

※チームの誰かが濃厚接触者となった場合、そのチームの大会参加を取止める。また、すでに試合が終了し、対戦相手に勝ち上がったチームの参加も遠慮してもらうこともあるので、予め了承願います。